

## 使用上の注意改訂のお知らせ

アルドース還元酵素阻害剤

# 日本薬局方 エパルレスタット錠 キアルマック<sup>®</sup>錠50mg

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

2013年11月

製造販売元 第一三共エスファ株式会社  
販売提携 第一三共株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、ご連絡申し上げます。  
つきましては、今後のご使用に際しご参照いただくとともに、副作用等の治療上好ましくない有害事象をご経験の際には、弊社MRに速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂の概要

「重要な基本的注意」の項のHbA1c測定値の表記をNGSP値に変更し、JDS値を併記しました。  
《自主改訂》

### 2. 改訂内容〔( ) 自主改訂、( ) 削除〕

改訂後	改訂前
<p>【使用上の注意】</p> <p>1. 重要な基本的注意</p> <p>(1) 現行通り</p> <p>(2) 本剤の投与の対象となる患者の糖化ヘモグロビンは、HbA1c(NGSP値)7.0%以上(JDS値6.6%以上)を目安とする。</p> <p>(3)(4) 現行通り</p>	<p>【使用上の注意】</p> <p>1. 重要な基本的注意</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 本剤の投与の対象となる患者の糖化ヘモグロビンは、HbA1c値7.5%以上(安定型HbA1c値では6.6%に相当する)を目安とする。</p> <p>(3)(4) 略</p>

### 3. 改訂理由

国際標準化に伴い、2012年4月1日より国内の日常臨床等におけるヘモグロビンA1c(HbA1c)測定値の表記がJapan Diabetes Society(JDS)値からNational Glycohemoglobin Standardization Program(NGSP)値に移行されたため、表記を変更しました。

☆添付文書全文については弊社ホームページに掲載しておりますので、併せてご参照いただきますようお願い申し上げます。[\(http://www.daiichisankyo-ep.co.jp/\)](http://www.daiichisankyo-ep.co.jp/)

なお、PMDAによる医薬品医療機器情報配信サービス「PMDAメディナビ」にご登録頂きますと、医薬品の重要な安全性情報がタイムリーにメール配信されます。  
<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html>

流通在庫の関係から、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでに若干の日数が必要ですので、ご使用に際しましては、ここにご案内申し上げました改訂内容をご参照いただきますようお願い申し上げます。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

(1) 糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法、経口血糖降下剤、インスリン等の治療を行った上でなお、糖化ヘモグロビンが高値を示す患者に対して適用を考慮する。

※(2) 本剤の投与の対象となる患者の糖化ヘモグロビンは、HbA1c (NGSP値) 7.0%以上 (JDS値6.6%以上) を目安とする。

(3) 不可逆的な器質的変化を伴う糖尿病性末梢神経障害の患者では効果が確立されていない。

(4) 投与中は経過を十分に観察し、12週間投与して効果が認められない場合には他の適切な治療に切り換えること。

### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

#### (1) 重大な副作用 (頻度不明)

1) 血小板減少：血小板減少があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

2) 劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全：劇症肝炎、著しいAST (GOT)・ALT (GPT)の上昇等を伴う肝機能障害、黄疸、肝不全があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。

#### (2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>(注)</sup>	発疹、そう痒、紅斑、水疱等
肝臓	AST (GOT)・ALT (GPT)・γ-GTPの上昇、ビリルビン上昇等
消化器	腹痛、嘔気、嘔吐、下痢、食欲不振、腹部膨満感、便秘、胸やけ
腎臓	BUN上昇、クレアチニン上昇、尿量減少、頻尿
血液	貧血、白血球減少
その他	倦怠感、めまい、頭痛、こわばり、脱力感、四肢疼痛、胸部不快感、動悸、浮腫、ほてり、しびれ、脱毛、紫斑、CK (CPK) 上昇、発熱

注) 発現した場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

(1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

(2) 本剤投与中は授乳を避けさせること。[動物実験 (ラット) で乳汁中へ移行することが報告されている。]

### 4. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。

### 5. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤の投与により尿は黄褐色又は赤色を呈するため、ビリルビン及びケトン体の尿定性試験に影響することがある。

### 6. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。[PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。]

### 7. その他の注意

本剤の投与により、黄褐色又は赤色の着色尿があらわれることがある。[本剤及び代謝物の影響による。]

注) ( ) 自主改訂

### 【資料請求先】

第一三共エスファ株式会社 お客様相談室  
〒103-8426 東京都中央区日本橋本町3-5-1  
Tel: 0120-100-601

製造販売元

**第一三共エスファ株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1

販売提携



Daiichi-Sankyo

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1